



# Mayors for Peace Newsletter

平和市長会議ニューズレター

編集・発行 平和市長会議事務局

2011年10月 第31号

## 平和市長会議加盟都市数が5,000を突破

2011年10月1日現在

～加盟都市が151か国・地域 5,020都市に～

皆様の多大なる御協力により、平和市長会議の加盟都市数は、9月16日に5000都市を突破し、10月1日現在で151か国・地域の5,020都市に達しました。そのうち日本国内の加盟自治体は4月以降に151都市増加して1,056となり、国内全市町村・特別区の6割を超えました。

海外では、7月にサウジアラビアから首都リヤドが初の加盟をしたほか、4月以降、イタリアで43都市、セネガルで41都市、オーストリアで40都市など、各国で大変多くの自治体が新たに加盟しました。核兵器廃絶に向けた都市連帯の輪の拡大の推進に多大な御協力をいただいた皆様に厚くお礼申し上げます。

平和市長会議加盟都市数（2011年10月1日現在）

地域名	国・地域	加盟都市数
アジア	30か国・地域	1,494都市
オセアニア	9か国・地域	125都市
アフリカ	40か国・地域	327都市
ヨーロッパ	45か国	2,302都市
北アメリカ	3か国・地域	282都市
ラテンアメリカ・カリブ海地域	24か国・地域	490都市
計	151か国・地域	5,020都市

### 加盟都市5000達成に関する 会長コメント

平和市長会議の加盟都市が、目標としてきた5000都市を突破したことを大変嬉しく思います。

これまで世界の各地で積極的に加盟促進に取り組んでいただいた、各国政府や役員都市をはじめとする平和市長会議加盟都市の関係者、国内外のNGOや市民団体の皆様の熱心な取組の成果であり、心から感謝申し上げます。

これにより、2020年までの核兵器廃絶を目指す世界での取組が一層進むのではないかと期待しています。

今後は、「2020ビジョン」を実現する上で極めて重要な役割を果たす「核兵器禁止条約」の早期実現に向けた取組を推進していくため、引き続き加盟促進に努めるとともに、平和市長会議の活動のより充実・強化に向け、役員都市と十分に議論し具体的な措置を講じていきたいと考えております。

平成23年（2011年）9月16日  
広島市長 松井一實

### 平和市長会議新会長に松井一實 広島市長が就任

4月10日の広島市長選挙により選出された松井一實市長が、4月11日平和市長会議新会長に就任しました。今後とも、平和市長会議の活動への御支援をよろしく申し上げます。



松井一實 広島市長

### 新たな理事都市

次の3都市が新たに理事都市に加わり、会長・副会長とあわせ役員都市が17都市となりました。

3月25日付

・フォンゴトンゴ（カメルーン）

・モントリオール（カナダ）

7月12日付

・メキシコシティ（メキシコ）

## CANT署名が国連本部の常設展示になりました！

2020年までの核兵器廃絶を目指し、2007年2月から展開している核保有国に対して都市を核攻撃の目標にしないよう求める「都市を攻撃目標にするな(CANT)プロジェクト」市民署名活動に全世界から寄せられた署名のうち、2010年5月のNPT再検討会議までに国連に提出した約102万筆の署名が米国・ニューヨークの国連本部に常設展示されています。(展示方法は、これまでに提出された署名用紙を高さ3メートルに積み上げて2本の塔を作り、ガラスで覆いモニュメントにしたもの)

2011年3月24日に行われた展示開始の記念式典では潘基文国連事務総長がスピーチをされたほか、セルジオ・ドゥアルテ国連軍縮担当上級代表や国連ピースメッセンジャーを務める俳優のマイケル・ダグラス氏も出席されました。また、日本からも3人の被爆者の方が出席されました。

平和市長会議では、核兵器廃絶を願う世界の市民の願いが国連本部で常設展示され、各国外交官や国連本部を訪れる人々に見ていただくことで、核兵器廃絶への思いがさらに広がるものと期待しています。



(写真提供：国連軍縮部)

## 世界人権都市フォーラム (於：韓国・光州市) への出席 (2011年5月15日～18日)

韓国・光州市において開催された世界人権都市フォーラムに、(公財)広島平和文化センターのステューベン・リーパー理事長が出席し、広島市長の代理としてメッセージを紹介するとともに、平和市長会議の取組を説明しました。



世界人権都市フォーラムの様子

## 第1回ゴータマ・ブッダ国際平和賞 授賞式に長崎市長が出席 (2011年5月15日～20日)



授賞式の様子 (長崎市長)

5月17日、ネパール・ルンビネー村で開催された「第1回ゴータマ・ブッダ国際平和賞」授賞式に長崎市の田上市長が出席しました。

授賞式当日は、ブッダ生誕の日ということもあり、猛暑の中、ルンビネ公園の会場周辺は多くの方が訪れ、

千人ほどの方が式典に参列する中、長崎市長及び秋葉前広島市長が、ラム・バラン・ヤダブ大統領から受賞メダルを授与されました。

翌18日には、カトマンズの国立トリブバン大学メモリアルホールで「原爆写真パネル展」を開催し、写真パネル20枚を展示しました。

ネパールにおける原爆展への関心は高く、トゥラダール教育大臣をはじめ、トリブバン大学副学長、水野達夫駐ネパール日本大使がオープニングセレモニーに出席したほか、学生や大学関係者、一般市民などを含む500人以上の方々が訪れました。

## 全米市長会議が平和市長会議の活動に賛同する決議を採択 (2011年6月)

2011年6月17日～21日に米国メリーランド州ボルティモアで開催された第79回全米市長会議年次総会において、6月20日、「米国大統領に対し、他の核兵器保有国の指導者たちと共に、2020年までの核兵器廃絶へ向け行動することを要請するとともに、連邦議会に対し、核兵器開発に係る費用の削減と削減した資金を自治体の要求する事業へ転換するよう要請する決議」が全会一致で採択されました。

この決議は、平和市長会議に加盟する市長らによって共同提出されたもので、2004年及び2006年以降毎年平和市長会議の活動に賛同する決議を採択してきたことや、平和市長会議への加盟要請活動に協力することなどを盛り込んでいます。

また、採択に先立つ6月19日には、潘基文国連事務総長が、同年次総会での演説の中で、平和市長会議と、100万筆以上を集めた「都市を攻撃目標にするな(CANT)プロジェクト」市民署名活動を称賛しました。

## 加盟自治体の取組から ～事務局に寄せられた各地の取組～

世界の加盟都市において、平和への取組が実施されています。2011年3月以降に寄せられた取組事例の一部をご紹介します。

### ■兵庫県西宮市:平成22年度の平和事業

西宮市からは、平成22年度の平和事業として、原爆展の開催(7月21日～26日)、親子広島バスツアーの開催(8月5日～6日)、平和灯ろう流しの実施(8月7日)、終戦記念日に向けての街頭啓発(8月10日)、平和非核都市啓発看板の設置(西宮市の平和非核都市宣言日である12月10日の前後8日間)、平和市長会議加盟記念事業 平和のつどいの開催(12月19日)についての情報が寄せられました。

### ■アイスランド レイキャビク市:ミニ広島長崎原爆展の開催(2月21日～3月8日)

アイスランドの首都レイキャビク市庁舎で、同市と在アイスランド日本国大使館の共催によるアイスランドで初めての原爆展が開催されました。同展では、日本非核自治体協議会から提供された写真・書籍等約20点が展示され、開会式で夏目大使及びレイキャビク市のヨン・グナール市長が挨拶しました。



(写真提供: 在アイスランド日本国大使館、レイキャビク市)

### ■ブラジル パラナグア市:原爆展及び被爆証言等(7月4日)

パラナグア市の市制363周年記念式典において、原爆展の開会セレモニーや平和市長会議への加盟記念特別行事が開催されたほか、ブラジル被爆者平和協会代表による証言や「ヒロシマ・母たちの祈り」の上映が行われました。

### ■英国オックスフォード市:平和市長会議 / 非核宣言自治体協議会 英国フォーラム合同セミナー開催(7月8日)

オックスフォード市長の主催による、平和市長会議 / 非核宣言自治体協議会 英国フォーラム合同セミナー開催が、同市庁舎で開催されました。同セミナーでは、加盟促進のための共同署名書簡や広島・長崎原爆展の英国巡回展について協議されました。



合同セミナーの様子

### ■ペルー ラ・ビクトリア市:「平和の千羽鶴」(8月6日)

ラ・ビクトリア市庁舎でリマ・カヤオ地域自治体女性ネットワーク(MUALIC)とペルーの平和市長会議加盟都市が合同で開催した「平和の千羽鶴」において、リマ首都圏の6つの自治体の首長が折り鶴を折り、100人以上の参加者とともに平和と核軍縮を求めて市街を行進しました。

### ■英国マンチェスター市:マンチェスター・ピース・フェスティバル(9月17日～25日)他

マンチェスター市からは、「二重被爆:山口彊の遺言」の上映会や、平和行進、コンサートなど様々な企画を盛り込んだマンチェスター・ピース・フェスティバルの情報や、同市の平和や人権に関する史跡を巡るマンチェスター・ピース・アンド・ジャスティストレイルの設置、また、長崎市から英国非核宣言自治体協議会に寄贈された資料による原爆展が、英国各都市を巡回しているという情報が寄せられました。

### ■北海道網走市:平和都市宣言20周年記念事業

「平和都市宣言」から20年目を迎え、「平和への関わり ～観る、聴く、考える、祈りを込める～」と題して、平和について考え、そして、祈りを込める取組として、原爆、沖縄戦などのパネル等の展示(8月9日～14日)や、市民から折り鶴を募集し(8月)、展示し(9月5日～16日)、広島平和記念公園の「原爆の子の像」に捧げる(9月28日)という事業を行いました。

その他、ベルギーのアールスト、アントワープ、バスターニュ、ブリュッセル、ヘント、ルーヴァン、メチレン、モンス、イーペルの9つの都市で開催された広島・長崎の追悼行事(8月6日)、神奈川県藤沢市から「親子記者派遣事業」(8月)、神奈川県逗子市から「第1回ずし平和デー」(8月25日～27日) イタリアのマツァリーノ市の「アジア・アフリカから保護者のいない難民申請中の子供たちを受け入れる事業」、ギリシャ ロードス市で開催された「第4回ロードス国際反核フェスティバル」(9月12日～21日)についての情報が寄せられました。

● **最近の主なトピック** (2011年3月～2011年9月) ●

- ・ 3. 3 ジュネーブ軍縮会議関連行事に平和市長会議から代表が参加。
- ・ 3. 24 約102万筆のCANT署名が国連で常設展示開始。
- ・ 3. 25 フォンゴトンゴ市(カメルーン)及びモントリオール市(カナダ)が理事都市に就任。
- ・ 4. 11 松井広島市長が平和市長会議新会長に就任。
- ・ 5. 15～18 世界人権都市フォーラムに平和市長会議から代表が出席。(韓国 光州市)
- ・ 5. 17 「第1回ゴータマ・ブッダ国際平和賞」授賞式。長崎市長が出席。  
(ネパール ルンビニー村)
- ・ 5. 17 軍縮会議各国政府代表向けの「核戦争の環境及び人間に対する影響」セミナーを  
ジュネーブの2020ビジョンキャンペーン推進者が開催。(スイス ジュネーブ市)
- ・ 5. 18 ペルー自由自治体連盟(FEMULP)との間で連携・協力することで合意。  
(ペルー リマ市)
- ・ 5. 20 コロンビア自治体連盟(FCM)との間で連携・協力することで合意。
- ・ 5. 23 米国が2010年11月と2011年3月に実施した新しいタイプの核実験に対し、役員都市市  
長の連名による抗議文を送付。
- ・ 6. 20 第79回全米市長会議総会で平和市長会議の活動に賛同する決議を採択。  
(米国 ボルティモア市)
- ・ 7. 1 国内加盟自治体が1,000自治体を超える。サウジアラビアから首都リヤドの加盟に  
より、加盟都市が151か国・地域に拡大。
- ・ 7. 8 平和市長会議/非核宣言自治体協議会英国フォーラムの合同セミナーを開催。  
(英国 オックスフォード市)
- ・ 7. 12 メキシコシティ(メキシコ)が理事都市に就任。
- ・ 7. 20 米国が2010年12月と2011年2月の2回、臨界前核実験を実施したことに対し、役員都  
市市長の連名による抗議文を送付。
- ・ 9. 16 加盟都市数が5,000を突破。

◎ **お知らせとお願い** ◎

- 事務局ではEメールを利用した加盟都市相互の情報交換や事務局からの連絡等のため、各都市のメールアドレスを整理しています。メールアドレスの新規登録・変更、市長の交代等がありましたら是非とも事務局へ御連絡下さい。

**2020ビジョンキャンペーンの展開に伴う  
寄附金募集**

平和市長会議では2020ビジョンキャンペーンの世界的な展開のため、加盟都市をはじめ企業、個人等の皆様へ活動支援の募金を呼び掛けています。是非とも御協力をお願いいたします。

**【受入口座】**

銀行名： 広島銀行広島市役所支店  
口座番号： 普通預金 3004641  
口座名義： 核兵器廃絶のための  
緊急行動実行委員会



中南米地域での活動の様子：ペルー(左)、アルゼンチン(右上)、コスタリカ(右下)

**平和市長会議事務局**

〒730-0811 広島市中区中島町1-5  
(公財)広島平和文化センター平和連帯推進課内  
Tel:082-242-7821 Fax:082-242-7452  
E-mail:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp  
URL:http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html